



## 北アメリカ、西ヨーロッパおよび中央ヨーロッパ

北アメリカ、西ヨーロッパおよび中央ヨーロッパでは HIV 感染者数は増加している。抗 HIV 治療(以下、ART)がこの一因であるが、北アメリカの新たな HIV 感染者数が横ばいであることに加えて、西ヨーロッパ地域で 2002 年以降、新たな HIV 感染が増えていることも、感染者数増加の原因である。2007 年、北アメリカ、西ヨーロッパおよび中央ヨーロッパの HIV 感染者数は 210 万人 [110 万–300 万人]と推定され、そのうちの 7 万 8 千人 [1 万 9 千–8 万 6 千人]は過去 1 年間に新たに HIV に感染した人々であるとされる。効果的な抗 HIV 治療へのアクセスが拡大したことにより、エイズによる死者数は比較的少なく、推定 3 万 2 千人 [2 万–8 万 4 千人]である。

アメリカ合衆国は世界で最も HIV 感染者数が多い国の一つである。33 州と 4 つの属領で得られた長期匿名調査のデータによると、2005 年、HIV 感染あるいはエイズと診断された成人と若者のうち 74%が男性であった。2005 年に HIV 感染と診断された人々の半数以上 (56%) が MSM である。不特定の異性との性行為による感染は 3 分の 1 弱 (32%) で、18%が薬物注射によるものとなっている (US Center for Disease Control and Prevention, 2007a)。

アメリカ合衆国では現在も HIV の影響を最も受けているのは人種および民族的なマイノリティ (少数者) である。アフリカ系アメリカ人は全人口の 13%を占める (US Census Bureau, 2006) が、2005 年の新たな HIV 感染者数では 48%を占めている。2004 年、エイズは 25–44 歳のアフリカ系アメリカ人の死因の第 4 位である (Anderson, Mosher & Chandra, 2006; US Center for Disease Control and Prevention, 2006)。ヒスパニック系の人々は人口の 14%だが、新たな HIV 感染者数では 18%を占める (US Center for Disease Control and Prevention, 2007b)。

1990 年代半ばに HIV 感染者数が横ばいになって以来、1990 年代後半から再び HIV 感染者数が増えているのはカナダである。これは主に抗 HIV 治療の普及による。毎年新たに報告される HIV 感染者数には変化がなく、毎年、2,495 人から 2,538 人の間となっている (Public Health Agency of Canada, 2006)。

男性間の無防備な性行為が新たな HIV 感染の大部分を占めている。(2005 年には 45%、2002 年には 42%) (Boulos et al., 2006)

2005年に新たに HIV に感染した人々の推定 37%は、異性間の無防備な性行為によるもので、そのほとんどが、おもにサハラ以南アフリカや西インド諸島（カリブ海）など HIV が大流行している地域出身者である。

異性間の性行為による HIV 感染は、移民や移住労働者に多く、2006年の西ヨーロッパの新たな HIV 感染者数の 42%を占める。新たな HIV 感染者の 3分の1弱（29%）は男性間の安全でない性行為によるもので、薬物注射による感染は 6%である（EuroHIV, 2007）。

スペイン、イタリア、フランスおよびイギリスは現在も西ヨーロッパおよび中央ヨーロッパのなかで HIV 感染が最も広がっている国である。イギリスでは、新規 HIV 感染報告数が、2001年の 4,152 人から 2006年には 8,925 人と 2倍になっている（EuroHIV, 2007）。イギリスで HIV 感染の報告数が増加しているのは、MSM の新規感染者数に変化がないことと、高い HIV 感染率の国々（サハラ以南アフリカとカリブ海地域）で感染した、異性愛者の男性および女性が HIV 感染と診断されることが増えていることに加えて、HIV 検査サービスの拡大により報告の改善が見られたことによる（Health Protection Agency, 2007; Euro HIV, 2007）。

イギリスを除く西ヨーロッパでは、新規 HIV 感染報告数は 1999年から 2005年の間に 7,497 人から 19,476 人とほぼ 3倍になったが、2006年には 16,316 人と減少した。報告数の多くを占めるのはフランスである。フランスでは定期報告が 2003年から始まったが 2006年の報告数は 5,750 人だった。次いで、ドイツ（2,718 人）、ポルトガル（2,162 人）となっている。スペインとイタリアでは報告システムがあるのは一部の都市のみである。西ヨーロッパのその他の国々では、2006年に新たに報告された HIV 感染者数は少なく、1,000 人を超えたのはオランダのみ（1,017 人）だった。（EuroHIV, 2007）

西ヨーロッパ地域の HIV 感染は主に安全でない性行為によるもので、ポルトガルやスペインなどの国々を除いて、汚染された注射器具を用いた薬物注射によるものがこれに続く。異性間の性行為による HIV 感染のほとんどが、HIV 感染率の高い国々出身の人々であり、その半分（50%）が女性である（Euro HIV, 2007）。

西ヨーロッパの HIV 感染には二つの傾向がある。男性間の安全でない性行為による新たな HIV 感染が 1999年から 2006年にかけて 2,538 人から 5,016 人とほぼ 2倍になっている。一方で、薬物注射による新たな HIV 感染は同時期に 661 人から 581 人と減少している。

中央ヨーロッパ諸国のなかで 2006年の新規 HIV 感染報告数が 100 人を超えたのは、ポーランド（750 人）、トルコ（290 人）、ルーマニア（180 人）の 3カ国である。そのほかの国々では HIV 感染者数は比較的少なく、HIV の流行が始まってから累積 HIV 感染報告数が 1,000 人を超えているのはハンガリー、モンテネグロ、セルビアだけである（Euro HIV, 2007）。

バルト海3国（エストニア、ラトビア、リトアニア）では、薬物注射が主な HIV 感染経路である。これらの国々では HIV 感染者数は横ばい状態である（Hamers, 2006; EuroHIV, 2007）。ただし、エストニアでは HIV 感染率が 100 万人あたり 54 人と高く、ヨーロッパの中で成人の推定 HIV 感染率が 2005 年に 1.3%[0.6%–4.3%]と最も高い（UNAIDS, 2006; Euro HIV, 2007）。